
DEAD EARTH

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DEAD EARTH

【NZノード】

N82990

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

とある架空の国が制作した作品を日本語にリメイクしました。
058年の地球は真の地球温暖化によって滅んでいく。

part1 2011年からの予言

2011年の夏、アヌスは、3歳であった。

母親と父親が違法な労働によって殺されたせいで、苦しい思いをしていた。

アヌスは、50歳になつた時地球は奇妙な姿を遂げていた。

極端すぎる天氣。極端な温暖化と寒冷化が北極と南極を刺激して氷を溶かしていた。

「このままでは、3歳の時に読んでいた本の文章が現実になつてしまふ。」

カインは、アヌスに言った。

「俺は、29年前にその本の再販を読んでいた。だけど本当に地球環境がこんなになつてているとは思つても見ませんでした。」

此の一人の目的は、独自で地球環境を元に戻そうと考えているのである。

2058年6月1日地球滅亡まであと1ヶ月

完全に地球がイカレル日が近づいていた。

果たして、地球は救われるのか？もしくは、バッドエンドになつてしまつのか？

part1 2011年からの予言（後書き）

次回 part2。

part2 地球結核化現象

2058年6月2日、地球滅亡が近付いていた。

アヌスは、エイダムの所に来た。

「アヌス、今日は例の奴を持つてくると言つたな。」

「ああ、地球の温度変化についてだろ。持ってきたよ。」

アヌスは、地球温度変化録といつ書類をエイダムに渡した。

「なるほど、ひとつ最悪の事態に来てしまったのか。」

「どうじつけですか？」

「地球結核化現象だよ。地球に俺達人間という異物が派手過ぎた開発でこの地球の秩序が保てにくいう状態となってしまったんだ。つまり、俺達が黙示録を作ってしまったのと同じことになる。」

アヌスは、難しい表情をしていた。

「どうした？」

「いや、何でもない。そんな罪を犯した人間が地球結核化を防ぐなんて不可能すぎる罪滅ぼしではないかなと思つてね。」

「確かに、ここまで来たらだと思つけど、人間は絶望を超える力を持つてゐるから此の事態を乗り越えられると思うよ。」

「そうだな。」

DEAD EARTH OP主題歌「星が死ぬ頃に」

作詞 台風X号

超絶と感じて 自然の罪犯し
人々は地球の病原体と化す
やり過ぎた開発 人の子は知らんふり
地球へ決意が 嘘となるのなら
死に至れん 足跡がなくなり
砂浜が海に誘わ^{いざな}れても 人は木を殺す
神は地球の限界を知りつくし
ただちに人の子に警告を
しようとしても 宗教離れ
叶わぬ希望に 星は絶望し
そして死に至る

どうすれば救えますか

十四の罪を超える勇気が
星を守れるのなら 死を恐れず
頑張れる質量を増加させて
星が死ぬ前に救えるすべを

滅亡のイヴになり 生命体は懲悔し
愛されたものを完全に失い
木魂した悲鳴 誰も助けに来ない
贅を極めて 生贅になりて

陸地のほとんどが海に食われて 人は生を殺す
奇跡の夜空すらも見えなくなつた時

人間は罪に気が付いていく

しかし手遅れだ さあこの星とともに

滅んでしまえ 星滅ぼしの罰

人は自滅する殉して

どうすれば願えますか

十四の罪に怯えて動けない

星を守れない悔しみ 死して償う

強欲すぎた者には拷問を

怠惰すぎた者には処刑を

星を守らぬものには滅亡を

英語「一ラス（地球の死の恐怖に誘われるのならば、私は地球を救う救世主となりたい。死を恐れるのはだれでも同じことでこの星も死を恐れる。心が抵抗しても、たとえ悪に地球を救うなと言われても、希望を紡ぐためならば私がこの地球を守る）

砂浜が海に誘われても 人は木を殺す
神は地球の限界を知りつくし

ただちに人の子に警告を

しようとしても 宗教離れ

叶わぬ希望に 星は絶望し

そして死に至る

どうすれば救えますか

十四の罪を超える勇気が

星を守れるのなら 死を恐れず

頑張れる質量を増加させて

星が死ぬ前に救えるすべを
どうすれば願えますか
十四の罪に怯えて動けない
星を守れない悔しみ 死して償う
強欲すぎた者には拷問を
怠惰すぎた者には処刑を
星を守らぬものには滅亡を

part2 地球結核化現象（後書き）

次回 part3台風で滅亡した国。お楽しみに！OP主題歌を作りました。ED主題歌は次回まで待たれ。歌わ歌わないとこれ分かれませんね。evileらしい歌詞がアリプロっぽく思いませんか？感想お願いします。

Part3 台風で滅亡した国

アイヴィス共和国チヨーク省マタタリ県リオサンタ市国立異常気象観測所

「ここでは8人の気象学者と気象予報士が異常気象のデータを確認している。」

ヨイは、気象学者で気になる現象を調べ上げて経った半日で膨大な量のデータをひとまとめにしてパソコンのワードやエクセルに編集するといつすゞ技の持ち主である。

「今回のデータ、2057年6月30日に台風が滅ぼした国パラオと似ているといつよりそれの100倍違うよ。」

「どれどれ、確かに大変だ。」

気象予報士のリーンリは、此の事態を急いで連邦気象監に連絡した。

連邦気象監の監長は、連絡を受けて急ぎ足で大統領官邸に向かった。

破滅のカウントダウンは時を刻み続けた。

大統領官邸

「政策は、此の騒ぎが終わるまでは提出できません。」

「同感ですよ。いくら味方の党でも焦りの見えすぎです。」

Part 3 台風で滅亡した国（後書き）

次回 part 4 アイヴィス共和国大統領官邸。お楽しみに！
9月！台風X号最新作！人間と自然、どうしたら仲良くなれるのだろう？生きる台風「台風X号」がその疑問に答える。新たなストーリー。自然の使徒が人の子から選ばれし者を作り出す。

Part 4 アイヴィス共和国大統領官邸

「しかし、困ったな。」

アイヴィス共和国の大統領は、少し焦りを見せていた。

なぜなら、明後日16力国の首脳と会談し、世界各国を非常事態宣言を出すかということに困り果てていたのである。

「大統領！」

「連邦気象監、ダリースリ監長どうしたんだい。」

「IJのデータを見てくださいませんか。」

3人は、気象データにまづい状況を知ることになった。

「これは急いだ方がいいな。」

「そうですね、急ぎましょう。」

6月2日午後9時55分、世界はまだ地球が結核で死ぬということに気が付いていない。

6月2日午後11時25分、夜中の竜巻が50力国で発生した。

日本、アメリカなどの国で被害が続出した。

アヌスとエイダムは、今後の地球のことを話し合っていた。

Part 4 アイヴィス共和国大統領官邸（後書き）

次回 part 5 6月3日の朝の惨劇。お楽しみに！
だんだん怖い展開が迫ってきました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8299o/>

DEAD EARTH

2011年10月9日22時52分発行